

患者さんへ

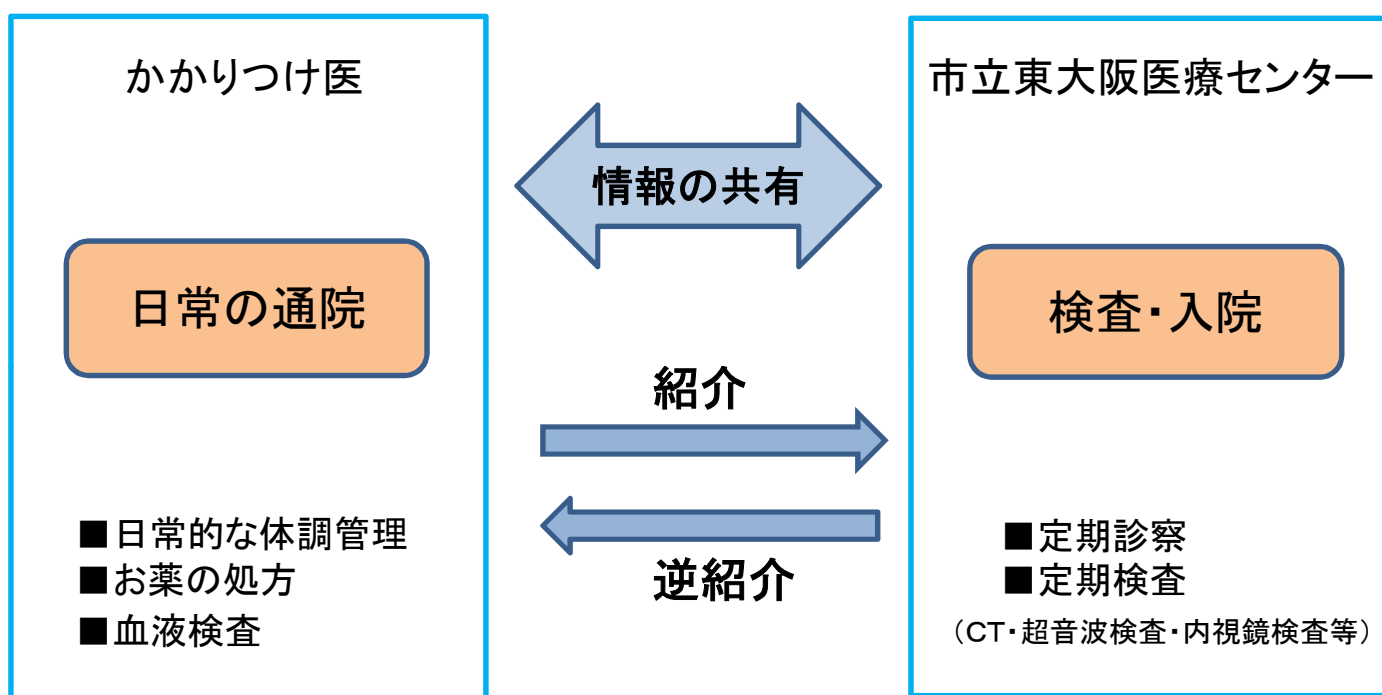
がん診療地域連携パスのご案内

「地域連携パス」は、かかりつけ医と市立東大阪医療センターが連携し、役割を分担して患者さんの治療にあたります。

- ・日々の診察と薬の処方がかかりつけ医が行います。
- ・節目の診察、検査、入院は市立東大阪医療センターが担当します。

治療は共通の治療計画書(パス冊子)に沿って行われていますので、同じ診療方針で治療を受けられます。

患者さんの診療情報は、かかりつけ医と市立東大阪医療センターで共有致しますので、患者さんは必要な治療をスムーズに受けることができます。



定期受診

定期受診

自宅の近くで診てもらいたい

ゆっくり話を聞いて欲しい

検査の重複を避けたい



がん連携パス冊子

受診の時には冊子を持って行きましょう